

令和 4 年度

# 事業計画書



自 令和 4 年 4 月 1 日  
至 令和 5 年 3 月 31 日

社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会

# 令和4年度 那覇市社会福祉協議会 事業計画

## — 目 次 —

基本方針	P1
重点項目・重点項目の概要	P2
本会理念	P3
職員行動原則	P3
実施事業	
I. 法人経営部門	P4
1. 会務の運営	
2. 法人運営・経営の適正化と透明性	
3. 人材育成及び人事管理	P5
4. 広報活動・広報戦略	
5. リスク管理やコンプライアンスに関する管理体制	
6. 第4次強化発展計画の進行管理	
7. 赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金運動	
8. 重度心身障害者医療費等貸付事業（市補助）	
II. 地域福祉活動推進部門	P6
1. ボランティア振興事業	
2. 安心生活創造推進事業（市委託）	P7
3. 生活支援体制整備事業（市受託）	P9
4. 那覇市地域支えあい訪問型サービス事業（市委託）	
5. 社会福祉法人ネットワーク事業（県社協補助）	
6. 那覇市地域ふれあいデイサービス事業（市委託）	
7. 子どもの支援団体等へのサポート事業「糸」（市委託）	P10
8. 子ども食堂サポート機能設置事業（休眠預金等活用事業助成）	
9. 地域福祉財源の造成、助成事業の実施	
10. 共同募金委員会と連携した共同募金・歳末助け合い運動の実施	
11. 第4次地域福祉計画及び第2次地域福祉活動計画の推進	

Ⅲ. 相談支援・権利擁護部門 . . . . . P 11

- 1. 日常生活自立支援事業（県社協委託）  
生活保護世帯金銭管理支援事業（市委託）
- 2. 法人成年後見事業
- 3. 生活福祉資金貸付事業（県社協委託） . . . . . P 12
- 4. ふれあいのまちづくり事業（ふれあい相談室）

Ⅳ. 介護・生活支援サービス部門 . . . . . P 13

- 1. 居宅介護支援事業所
- 2. 通所介護事業（デイサービスあしびなー）
- 3. 訪問介護事業・障害福祉サービス事業  
（ホームヘルプステーションわかば）
- 4. 特定相談支援事業・障害児相談支援事業 . . . . . P 14  
（障がい者生活支援センターゆいゆい）
- 5. リフト付きバス運行事業（市委託）・一般旅客運送事業
- 6. ファミリーサポートセンター事業（市委託）
- 7. 育児支援家庭訪問事業（市委託）

Ⅴ. 指定管理運営事業 . . . . . P 15

- 1. 那覇市総合福祉センター指定管理運営
- 2. 老人センター・憩の家（金城・識名・小禄）の指定管理運営
- 3. 児童館（金城・識名・小禄）の指定管理運営
- 4. つどいの広場事業（市委託）

数値目標

企画総務課 . . . . .	P 16
地域福祉課 . . . . .	P 18
在宅福祉課 . . . . .	P 21
施設福祉課 . . . . .	P 23

年間行事計画表

企画総務課 . . . . .	P 24
地域福祉課 . . . . .	P 26
在宅福祉課 . . . . .	P 28
施設福祉課 . . . . .	P 29

## 令和4年度 那覇市社会福祉協議会 事業計画

### 基本方針

新型コロナウイルス感染症は、変異株の出現により2年を経た現在も収束の目途がたたず、人々の健康、生活、社会、経済に大きく影響を与え続けています。長引く緊急事態宣言・まん延防止等重点措置に伴い、沖縄県の観光産業は、渡航や飲食店の営業時間制限により特に甚大な影響をうけ経済的困窮世帯の増加、外出自粛によるフレイル（加齢に伴う心身の活力低下）のリスク増大やDV・児童虐待の増加など様々な生活課題が山積し、さらには、ヤングケアラー、ひきこもりなど“制度の狭間”の問題などが社会的課題となっており、社会的孤立など支援の行き届きにくい方へのアプローチ（支援のあり方）が問われています。これら課題に対応する取り組みとして、国において平成27年度から「地域共生社会の実現」に向けた検討を進め、具体的な施策として“包括的な支援体制整備や重層的支援体制整備事業を創設し取り組みが全国的に加速しています。

このような状況において、地域ではコロナ禍が長期化する中、会う頻度が少なくなっても、手紙や電話・メール等で連絡し合う非対面による交流の仕方は様々で感染対策をしながらも、創意工夫した地域住民同士の人と人が繋がる新たな見守り活動が進められています。

本会は、コロナ禍で直面する課題や新たな取り組み、様々な地域生活課題の対応に向けて、多様なネットワークをつくることが重要な役割と認識しております。地域の問題解決を図るためにも県・那覇市、地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉法人・福祉施設、さらには福祉以外の分野も含む幅広い関係者と企業等、ICT（情報通信技術）によるソーシャルメディアの技術を活用しながら、工夫した活動を共有し、連携・協働することで地域福祉の推進を図ってまいります。

4年目となる「第4次那覇市地域福祉計画及び第2期地域福祉活動計画」の進捗状況を精査し、地域共生社会の実現に向けた協働の中核を担う組織として、目標達成に向けた取組を着実に実施します。

また、那覇社協経営の基盤強化を重点目標とした「那覇社協第4次強化発展計画」に基づく、3つのプロジェクトチーム（1.組織力強化 2.財政基盤・広報強化 3.人材育成強化）を中心に役職員一丸となって、職員の地区担当制を継続し各部署が有機的に繋がりを局内連携体制を確立させていきます。社協の総合力を発揮し相乗効果による課題解決力を高め、局内の多職種による相談機能を強化していきます。

## 重点項目

1. コミュニティソーシャルワーク機能の強化
  - ・校区まちづくり協議会、福祉団体等との連携による地域の見守り体制強化  
(地区担当制の推進)
  - ・総合相談体制の構築
  - ・社会福祉法人等による地域貢献事業の取り組み推進
2. 子どもの居場所ネットワーク化と食支援による企業連携
3. 介護事業等の経営改善と自主財源の充実強化
4. 第2期地域福祉活動計画及び第4次強化発展計画の進捗管理
5. 那覇市社会福祉協議会創立70周年・法人設立55周年周年事業

## 重点項目の概要

### 1. CSW（コミュニティソーシャルワーク）機能の強化

那覇市では、2020年度那覇市施政方針及び第4次那覇市地域福祉計画に基づき、協働のまちづくりをさらに深化させていく小学校区単位の地域づくりを目指して、組織全体で一体となって取り組む必要があることから、令和2年度よりCSWの職員の配置による地域活動のみならず、全職員が社協の総合力（部署間・事業間連携）を活かしたコミュニティソーシャルワークの展開することが求められており、地区担当制を実施しています。

地域においては、コロナ禍で長期的に地域活動が休止した事によって、心身の健康に不安を抱えている高齢者等が増えていることを踏まえて、地域のニーズに応じた多様な地域関係者と連携・協働し、見守りが必要な要援護者への支援を強化していきます。また、地域生活課題の解決に向けて、コーディネート機能を発揮し個別支援と地域支援の一体的なソーシャルワーク機能を強化します。

社会福祉法人等による公益的な地域貢献活動への参加を促進し、地域福祉活動の担い手の輪が一層広がるような事業を推進します。

### 2. 子どもの居場所と食支援及び企業連携

経済的に困窮している世帯やひとり親世帯、共働き世帯など、子育て世代の課題解決に向けて、子ども食堂や学習支援等の活動をしているボランティア団体やNPO等の支援団体をサポートし、地域で安心して子育てができる地域づくりに取り組みます。

令和2年度より全国食支援活動協力会から3年間の助成金を受けて令和4年度が最終年となります。子どもへの食支援として、子どもの居場所支援の強化を目指し、企業からの支援も拡充しつつあり、物資提供・配達的环境整備に取り組み、持続的な仕組みづくりを図ります。

### 3. 介護事業等の経営改善と自主財源の充実強化

介護保険制度改定（第8期計画）において、「介護予防・地域支援づくりの推進」などの動向を注視し、多職種連携による在宅サービスの強化を図ります。

収益事業の柱となっている障害福祉サービス事業等について人員体制を整備強化し収益増に努め、採算状況やサービス提供状況について常に数値で把握・分析し経営判断していきます。IT機能を活用し事務の効率化を図り、各事業の運営基準等の法令遵守と監査機能を強化します。また、サービス提供を通じて利用者の地域生活課題を把握し、制度の狭間等の課題解決に向けて他部署と連携を図ります。

会費や寄付金等の自主財源については、住民や多様な組織・団体に対して、広報誌やHP等での広報に併せて、“職員一人一人が広告塔”となり、事業を通じて積極的に地域に出向き、社協の活動や役割を伝え、地域福祉への関心・社協事業への参加意識の醸成に向けて取り組み、自主財源の確保に努めます。

### 4. 第2次地域福祉計画活動計画及び第4次強化発展計画の推進・進捗管理

各計画に基づく事業実施の進行状況や課題等を、各種会議等でヒヤリングを実施し進行管理を行います。第4次強化発展計画においては評価委員会を開催します。

### 5. 那覇市社会福祉協議会創立70周年・法人設立55周年周年事業

諸先輩たちが築き上げてきた歴史を振り返り、現職員の精励と沢山の支援者（会員等）へ感謝し、地域福祉を推進する中核的な団体としての使命を果たすべく那覇社協の存在価値を、市民に伝える絶好の契機と受け止め広報啓発を重視した企画を実施します。

## 本会理念

『市民の笑顔あふれる支えあいのまちなは

～信頼される社協を目指して～』

## 職員行動原則

- 一、私たちは地域住民に寄り添い、柔軟な姿勢で対応します。
- 一、私たちは使命感を持って、新たなことにチャレンジします。
- 一、私たちは仲間の個性を認め合いチームワークで対応します。
- 一、私たちは福祉サービスの質の向上と自己研鑽に努めます。
- 一、私たちは感謝と笑顔を大切にします。

## 実施事業

### I 法人経営部門

適切な法人運営や事業経営を行うとともに、総合的な企画や各部門間の調整等を行う社協事業全体のマネジメント業務にあたります。加えて、地域福祉活動を安定的に持続させるため、組織や財源基盤の確立を目指します。

#### 重点目標1 社協経営の基盤強化

1. 組織力の強化 2. 人材育成の強化 3. 広報の強化 4. 財政基盤の強化

#### 1. 会務の運営

地域社会の総意の中で事業展開できるよう、法人の意思決定を行う評議員会や事業執行に責任を負う理事会を構成します。また、地域の意見を反映し、市民参加・協働による地域福祉を推進するため部会・委員会機能を強化します。

#### 2. 法人運営・経営の適正化と透明性

引き続き今年度もコロナ不況により厳しい経済状況は継続すると予測されること、また介護事業の経営不振により近年基金の取り崩しが続いていることから、本会の事業運営及び経営対策を強化します。

- ・各介護・障害サービス事業の今後の検証と考察
- ・公的財源（補助金・委託金）の確保及び自主財源確保（チャリティ事業等）の新しい方策の検討
- ・会員・会費規程の見直しの検討
- ・健全な財務運営、会計管理の実施

#### 3. 人材育成及び人事管理

本会では働き方改革の施行に先立ち非正規雇用者の給与・福利厚生等に取り組んできました。今後も職員の働き甲斐のある働きやすい職場環境づくりを目指していきます。

- ・適正な職員体制の確保と人事考課等の人事管理に努めます。
- ・人事評価表の実用と職員の資質向上に繋がる制度を構築します。
- ・職員の人材育成及び新人職員OJT制度の検討をします。
- ・階層別研修の参加促進や資格取得を推進します。
- ・資格保有者の組織における役割を整理する（資格手当の意味づけ）
- ・実習指導者資格取得及び実習指導担当の配置計画を進める。

- ・安全衛生委員会や産業医による職員の健康及び安全に関する環境整備に努めます。
- ・労働法制に基づいた労務管理に努めます。

#### 4. 広報活動・広報戦略

各課に広報担当を配置し広報誌「なは社協だより」の毎月発行、社協パンフレットの作成。また、個人情報の取り扱いに留意しながら、ホームページやSNSを活用した情報発信に努めます。

#### 5. リスク管理やコンプライアンスに関する管理体制

第三者委員、顧問弁護士等専門職を活用したコンサルテーションにより適正な管理を維持します。

#### 6. 第4次強化発展計画の進行管理

法人設立50周年（平成29年度）を契機に役職員で組織課題解決推進会議を開催し、「第4次地域福祉計画及第2次地域福祉活動計画」の推進を裏付ける組織体制づくりとして策定に盛り込んだ本計画は、理事会・評議員会機能の強化、経営の適正化と透明性の確保、会員体制の強化及び業務の推進体制を重層的かつ最も効果的な事業活動の展開を目指し組織体制の強化を図ります。

#### 7. 赤い羽根共同募金・歳末助け合い運動

前年度に引き続き、所属課を超えた横断的な全職員による取り組みとして、各自担当業務に関わる人・団体へのアプローチをさらに強化していきます。また従来の助成のあり方にとらわれない、公募枠を新たに設けて、助成審査や募金計画を作成することで公平性と透明性を確保します。

#### 8. 重度心身障害者医療費等貸付事業（市補助）

重度心身障害者へ医療費等の自己負担分の貸付による医療費助成事業を実施します。



## Ⅱ 地域福祉活動推進部門

地域住民や多様な組織・関係者の連携・協働による地域生活課題の解決や地域づくりに向けた取り組みの支援、福祉教育・ボランティア活動を通じた地域住民の主体形成、地域の組織・関係者の協働を促進し、地域福祉推進の中核的な役割を果たします。地域の人材・拠点資源の掘り起こしを行い、住民参画により誰もが参加できるネットワークづくりの契機とします。

### 重点目標2 誰もが参加できる福祉活動を推進する仕組みづくり

1. 誰もが参加できる活動の普及啓発活動の推進
2. 誰もが参加できる人材資源と活動の掘り起こし
3. 福祉関係団体・当事者団体との事業連携した関係づくりの推進

### 1. ボランティア振興事業

#### ○ボランティア・市民活動センター支援体制の強化

誰もがボランティア活動できる地域社会の実現のために、福祉ニーズに応じたボランティアの養成、人材育成に努めます。コミュニティソーシャルワーカー（略してCSW）や生活支援コーディネーターと連携し、地域住民、福祉以外の分野に関わる団体や企業など幅広い社会資源を地域活動に繋げていく必要があります。ボランティアを通じた福祉のまちづくりのためのプラットフォーム（土台づくり）の役割を担う社協として、関係機関と協働し地域福祉ニーズへの対応を図ります。令和3年度、企業の社会貢献活動を推進すべく、ボランティア協定を3団体（那覇青年会議所、那覇商工会議所青年部、陸上自衛隊）と結び、地域の生活課題について、協働による活動を進めて参りました。企業団体との連携をさらに強化し、地域共生社会の実現に向けて着実に取り組みます。

また、那覇市民活動支援センターとの連携を強化しつつ局内でのボランティア人材情報の一元化を検討し、各課・各事業にあるボランティア等の人材を統合化した『支えあいセンター（仮称）』の構想を検討します。

#### ○福祉教育・ボランティア学習の推進

学校ボランティア学習推進協議会が福祉教育の推進を担い、学校における福祉体験プログラムの実践と教員を対象とした福祉教育研修を企画・実施し、福祉担当者の設置等一定の役割を果たしてきました。今後の方向性としては、福祉教育実践に向けて、地域、行政、学校教育等との連携について、「市社協ボランティアセンター運営委員会」の他に、令和3年度に立ち上げた「活性化委員会」の設置を進めて、地域や学校、企業等が福祉教育をツールとして地域の福祉課題について関心を持ち、地域福祉推進に参加できる実践的なモデルプログラムの検討を進めています。また、講

座、研修の参加者の継続したボランティア活動への参加促進と担い手の育成に取り組みます。

### ○災害ボランティアセンターの運営及び災害時における支援体制の構築

県内において日常化している台風発生や沖縄全島に誘発する地震に対して、「那覇市災害ボランティアセンター設置運営マニュアル」に沿って、災害ボランティアに対する住民への啓発を強化します。今後は既存の校区まちづくり協議会や自治会等小地域活動を拠点に防災に関する部会の設置に向けた協議を重ねて、個別避難行動要支援者に対し、迅速に対応できるよう個人情報取扱い方法を関係者と検討する等地域における防犯防災活動の推進を図って参ります。

日頃より地域の支援者や関係機関が、支援を必要とする要援護者が地域で継続的に見守られ（共助）、時に「助けて！」（自助）と言える関係づくりとボランティアをやりたい人とボランティアを必要としている人をつなぐ住民参画で実現する共助の仕組みづくりを目指し、取り組みを進めます。

#### 重点目標 3 人と人を結ぶ支え合いの基盤づくり

1. CSW の計画的な配置と教育
2. 拠点を活かした地域福祉活動の展開

## 2. 安心生活創造推進事業（市受託）

現在、コロナ禍において、人と人がお互いの距離を置き、接触する機会を減らすことが求められている中で、那覇市の重点政策である協働のまちづくりに向けての方針に基づき、民生委員児童委員、自治会、行政、社協の代表者が一体となった四者会議を行政区毎単位に開催し、地域見守り隊の活動状況や地域課題を共有し地域支え合いの取り組みを絶やさない工夫した活動を推進します。また、これまで最も身近な地域の福祉活動を推進する基礎圏域を小学校区としその中における自治会等（通り会、ふれデイ、サロン、子ども食堂等）において、見守り隊等の見守りネットワーク活動を小地域福祉活動圏域としての単位で推進してきました。市内には様々な社会資源のネットワークがあり、企業や関係団体等による見守り活動も検討しながら、多様な見守り活動を推進していきます。

コロナ禍で人とのつながりが難しい局面こそ、これまでの地域の困りごとを、どのように拾い上げていくか、共有していくか、関係機関との多機関連携を視野に問題解決する仕組みづくりが重要と考えております。

そのためには、局内の取組からスタートさせて、各課に地区担当を配置し、課を越えた横断的な連携と情報を共有できるように、研修プログラムを作成して、職員の資質向上を図り、全職員がコミュニティソーシャルワーク機能を備えた集団として、持続可能な地域づくり体制整備を図って参ります。

## ○関係機関との連携ネットワークづくり

本年度も地域住民の実態把握・生活課題の検討調整を行い、自治会単位等における地域見守り隊の結成を促進し、福祉協力員の養成、居場所づくりを通して、社会的孤立防止運動として、県社協が推進する地域共生社会の実現に向けた THANKS(サンクス)運動を推進します。

- ① 那覇市 36 小学校毎の小地域福祉活動の推進（小学校区まちづくり協議会との協働による地域福祉推進体制の充実）基礎圏域小学校区毎の拠点づくり推進を図るために、地区担当制を活用しながら市のまちづくり協議会への参画を図ります。
- ② オンライン等と会場参加を組み合わせた見守りネットワーク活動（見守り隊、見守り会議、サロン、ふれデイ等）を推進します。
- ③地域の实態に即した身近な地域課題の実務者会議（地域ケア会議、テーマ別 部会・地域福祉懇談会等）を開催します。
- ④中圏域のネットワーク会議等からの福祉課題、生活課題を具体的対策として 協議する場を推進します。（四者会議、社会福祉施設等との連絡会議）
- ⑤令和4年度は社協創立70周年の節目にあたり、見守りフォーラムの実施における小地域福祉活動の成果共有と新たな見守り活動の仕組みづくりをラジオ等メディアを通して市民向けの啓発広報に努めます。
- ⑥民生委員児童委員活動の活動支援と担い手育成として、民生委員児童委員の欠員に対し、CSWが「見守り交流事業、歳末助け合いの見舞金」などの実態把握と支援のあり方を契機に単位民児協と連携し、小地域における人材の掘り起こしや欠員対策に協力します。令和4年12月の一斉改選にあたり、欠員地区を対象にした地区エリアの自治会に絞った意見交換会（地域福祉懇談会）を開催します。
- ⑦地域福祉を推進する関係団体（民児連・自治会・老人クラブ・PTA連合会等）との懇談会開催を契機に連携を深める場とします。
- ⑧那覇市医師会や医療機関と連携した医療情報キットの啓発広報を強化します。
- ⑨複雑多様化しつつある福祉課題について、CSWのみならず、関係する部署 が有機的な連携が図れるように、局内での定期的なケース会議や研修会プログラムを通してお互いの資質向上を図っていきます。利用者のよりよいサービスを提供するためには、援助方法や理論ならびに技術を学び、それぞれの職場間での具体的な活用に向けてこれまでの実践を振り返り、結び付くことを目的に事例検討、研修等を開催していきます。（局内の横断的な支援体制づくり）

## ⑩地区担当制の推進

各課地区（地域）担当は、できるだけ自分の「住んでいる地域に近い、まちづくり協議会等に参加し、ボランティアニーズの把握に努めて、それぞれの地域で福祉分野に関する専門性を求める事項が発生した場合は、その課題を持ち帰り、各事業担当と協議対応していきます。

### 3. 生活支援体制整備事業（市委託）

地域包括ケアシステム構築に向けて、医療・介護・介護予防・住まい、生活支援の体制を整備し、自立した日常生活が確保され、住み慣れた地域で住民同士お互い様の地域づくりに取り組む支援を行っています。本年度も生活支援コーディネーターを配置し、コミュニティソーシャルワーカー・ボランティアコーディネーターと連携し、地域の実情に即した地域福祉を推進します。市民の福祉課題を取り上げて、那覇市と協働しながら有機的な連携に努め、市民を主体とした関係機関とのネットワークの構築を図り、生活支援・介護予防サービス事業を充実強化していきます。

那覇市第8次高齢者プランの実態調査から65歳以上の高齢者の約2割は移動に関することで不安を抱えている高齢者が多いことから高齢者の移動支援について、地域住民をはじめ関係機関との意見交換会を行った。令和3年度には、県振興基金を活用し、市民のボランティア社会福祉法人施設等の協力を得ながら、高齢者や障害者の効果的な移動に関する新たなサービスの創設を目指し、石嶺ハイツ自治会を選定して試験的に取り組んできた。この移動支援モデル事業の成果を踏まえて、今後は、社会福祉法人施設等企業との連携を図り、地域で取り組める仕組みづくりを拡げていきたい。

### 4. 那覇市地域支えあい訪問型サービス事業（市委託）

那覇市でも高齢化率が年々増加する中で、本事業は要介護状態等となることを予防し、または要支援状態を維持若しくは軽減するとともに、地域における自立した日常生活を支援することを目的としています。自宅で自立した日常生活を営むことができるよう、養成講座を行い、修了した一般の住民（生活支援サポーター）の方が、週1回程度高齢者宅を訪問し、掃除やゴミだしなどの簡単な生活全般の支援（身体介護を除く）を行っています。今後はサポーターを増やし、助け合いの仕組みを拡げていきたいと考えています。

### 5. 社会福祉法人ネットワーク事業（県社協補助）

小規模法人ネットワーク化事業（ちゅいしいじい）による社会福祉法人施設等における公益的な取り組みについて、モデル事業が3年目に入り、最終年度を迎えるにあたり、今後は、持続可能な公益的取組が確立できるように社会福祉法人及び小規模法人との連携を強化し、局内でもCSW等と協働しながら複雑化・多様化した市民の福祉ニーズの課題解決の仕組みづくりを推進します。

### 6. 那覇市地域ふれあいデイサービス事業（市委託）

地域の公民館、集会場などで、地域ボランティア（運営協議会といいます）の協力のもと、コロナ禍で高齢者の外出の自粛で社会参加が制限されて、閉じこもり状態が続き、体力気力の活力低下の方が増えていることが考えられることから、フレイルの予防対策を検討します。住み慣れた地域での見守り支援をするとともに、介護への移

行を予防し、生きがいのある生活を支援していく事業として、令和4年度も2か所の拠点を確保し、活動の輪を広げていきます。また、レク指導員及び看護師のスキルアップを図るための研修会の実施、運営協議会の課題等も整理し、包括支援センター等の関係機関とも連携しながら、運営協議会の健全な運営を目指します。

#### 7. 子どもの支援団体等へのサポート事業「糸」（市委託）

本会はその支援団体をサポートすべく、平成28年10月那覇市の補助事業として子ども食堂や学習支援を行っている団体を支援し、団体同士の連絡会や研修会を開催することで意識を高め、また地域の関係団体とのネットワーク化を図り、子どもたちにとって、安心して通える居場所づくりを目指していきます。年々子どもの居場所が増えつつあり、ネットワーク化をさらに進めるために事務局体制の強化を図って参ります。本法人として、団体への助成や物資の支援、企業団体からの継続的な支援体制の構築を目指します。

#### 8. こども食堂等支援事業（休眠預金等活用事業助成）

全国食支援活動協力会から助成を受けて令和2年度から開始している本事業は、企業や団体からの寄付や食材の提供、コーディネートを通して地域からの支援拡充や、物資提供・配達的环境整備に取り組み、物流システムの構築、持続的な仕組みづくりを図ります。

#### 9. 地域福祉財源の造成、助成事業の実施

地域福祉を推進していくためには、財源確保も重要な事業と考え、局内でのプロジェクトチームに参画し、社協会費や共同募金等の自主財源の確保や民間助成金の活用も積極的に社協全体で取り組みます。

#### 10. 共同募金委員会と連携した共同募金・歳末助け合い運動の実施

共同募金運動を地域住民に対して啓発広報できるように目的や使途内容も職員間で十分に理解した上で、実施していきます。事業の見直しや新たな事業の創設を検討できるように財源を有効活用します。

#### 11. 第4次地域福祉計画及び第2次地域福祉活動計画の推進

小学校区毎の地域づくりを通して地域福祉の推進を図り、地域の実態に即した地域福祉懇談会、地域ケア会議、まちづくり協議会等のプラットフォームを通して住民参画の合意形成を図る仕組みを構築し、実効性のある計画を推進する。CSWと多職種間の地域福祉コーディネーター等との連携を協議しCSWの計画的な配置と育成を行います。

### Ⅲ 相談支援・権利擁護部門

地域住民のあらゆる地域生活課題を受け止め、地域での生活支援に向けた相談・支援活動、権利擁護支援、情報提供・連絡調整を行います。

#### 重点目標 4 安心して住み続けられるお互い様の生活支援の推進

1. 相談しやすい環境づくりと相談支援機関とのネットワークづくり
2. 在宅福祉ニーズの掘起こしと新たな在宅福祉活動の研究開発

子ども・お年寄り、障害のある市民等に対する福祉ニーズに応え質の確保と持続性のある介護福祉サービスの利用支援に努めます。

コロナ禍の中で、複合的課題や制度の狭間などの新たな生活課題に対し、見逃さない、断らない支援を目指し、CSWをはじめ関係する部署との連携強化を図り、高齢者・障がい者・子育て、生活困窮者等の地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対して他機関協働による包括的支援体制づくりに取り組みます。

総合相談の体制づくりとネットワークづくりとして、全課で市民ニーズの掘り起こしに努め、問題を組織で共有し問題解決の迅速な総合相談体制づくりに留意した計画に着手していきます。(多職種連携会議)

#### 1. 日常生活自立支援事業（県社協委託）・生活保護世帯金銭管理支援事業（市委託）

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、日常的な金銭管理等福祉サービスの利用援助等を行っています。年々利用者が増える中で、支援員の人材不足や利用者の判断能力の低下に伴う成年後見制度につなげる仕組みづくりが課題となっています。

令和3年度実施した関係機関へアンケートなどをもとに、対象者の実態把握に努めます。県・市との定期的に情報共有し適切な支援をしていきます。

#### 2. 法人成年後見事業

権利擁護センターの構想（第4次那覇社協強化発展計画）に向けて、日常生活自立支援事業、生活保護金銭管理事業、法人後見事業、入院入所時の身元保証機能や葬儀、家財整理等の包括的なニーズに対応できる仕組みを検討していきます。

権利擁護支援センター（県受託の日常生活自立支援事業・那覇市生活保護世帯金銭管理支援事業・法人成年後見推進事業の総合支援の総称）として成年後見を権利擁護のゴールとし、県や市の権利擁護事業は、そのつなぎという視点で、判断能力の低下に伴う日常生活に支援を要する市民全てを対象にした権利擁護支援センター（仮名）を目指します。今後は、受任報酬収入を公益事業として、関係機関が開催する養成講座への案内や成年後見事業促進法に基づく権利擁護センターの構想に向けた検討を

行政当局と意見交換を行います。

### 3. 生活福祉資金貸付事業（県社協委託）

#### ○コロナ禍における生活困窮者自立支援制度の対応と低所得者等への支援

昨年のコロナ禍で生活福祉資金事業は、特例貸付の制度を利用する方が那覇市全体で4万件を超え、感染防止を徹底しながら事務局体制を整え、迅速な貸付対応を行ってきました。今年度も引き続き、パート職員や人材派遣を活用しながら償還に向けた事務の対応や生活困窮世帯への支援活動を行って参ります。

### 4. ふれあいのまちづくり事業（ふれあい相談室）

#### ○総合相談体制の構築

ふれあい福祉相談室の体制強化と生活困窮者自立支援法に関係する機関・団体との連携を深め、自立支援に向けた適切な運用と事業の充実強化に努めます。

潜在的に、社会的貧困層の存在が増えることが予測され、歳末義援金受給者等の実態調査などを踏まえた民児協と更なる連携を深めるとともに、福祉資金の貸付のみならず償還においても、自立支援の一環として世帯支援を行います。貸付の対象外で、困っている世帯に対する支援は、横断的に各課の関係する部署が適時検討会議を開催するなど迅速な対応を図ります。

従来の当番制による相談員に加え常駐の専任相談員を配置し、これまでの基本姿勢を継承しつつ、本年度も、相談室担当職員とケースに関する事業担当者と連携を重視します。

令和3年度は、行政当局の消費者生活相談課を通して、関係機関とのネットワーク化を図る意見交換会を開催するなど、制度の狭間におかれている問題や深刻化した緊急課題を抜け漏れなくニーズを拾う、相談体制の必要性を高めました。

アウトリーチの必要な複雑化したケースは、CSWをはじめ各事業担当者、関係機関と協働・連携して解決に導く総合相談支援体制の構築を目指します。

そのためには、老人福祉センター等拠点を活かした相談窓口の整備や、顧問弁護士のアドバイスを通じて、様々な法律に関する難問の相談の解決につないでいきます。更に、法律に関する勉強会や事例検討会等を計画的に開催し、職員の資質向上と共に、各課にコミュニティソーシャルワーク機能構築し、断らない相談支援を目指し、総合相談体制の構想を検討します。

## IV 介護・生活支援サービス部門

介護保険サービスや障害福祉サービス、行政からの委託・補助で行うその他のサービスを提供します。その人らしい生き方・生活を尊重するため、必ずしも制度の枠にとらわれることなく、市民ニーズに基づく新たなサービス開発も目指していきます。

### 重点目標 5 安心して住み続けられるお互い様の生活支援の推進

1. 介護サービスの安定的な経営体制の構築
2. 在宅福祉ニーズの掘起こしと新たな在宅福祉活動の研究開発

令和 3 年度においては介護報酬改定と新型コロナウイルス感染症の影響が継続する 1 年となりました。利用者様やそのご家族だけでなく本会介護職員やそのご家族にも陽性者や濃厚接触者となるなど、陽性者が増加する度に感染対策を徹底し、慎重な対応を心掛けて支援しました。令和 4 年度においても職員一人ひとりが行える基本的な感染対策を行い、安心安全な福祉サービスの提供を行います。

また、感染症だけでなく自然災害が発生した場合に、利用者様の生活を支えるために必要な福祉サービスを提供できるかについて、BCP（事業継続計画）の検討が必要になっています。本会が入居する総合福祉センターの施設機能との連携も踏まえ、サービス毎の具体的な対応策の協議を進めていきます。

### 1. 居宅介護支援事業

令和 3 年度は、異動による新任介護支援専門員の配置により引継・育成に注力しました。令和 4 年度も本会の訪問介護事業や通所介護事業と連携し、安定した介護保険事業を展開することを目的に 4 名体制を目指します。

利用者様一人ひとりが安心して住み続けられ尊厳ある支援が行えるように、定期的なミーティングで事例検討・情報共有を行い、外部研修含め着実な人材育成に取り組めます。

### 2. 通所介護事業（デイサービスあしびな一）

令和 3 年度は介護報酬の改定が行われ、収支面では前年度を上回る実績となりました。また、12 月から口腔ケア加算に着手するなど、現状の人員で取り組める範囲での積極的な取り組みができました。令和 4 年度は本会の居宅介護支援専門員や訪問介護事業との連携を密にし、新たな加算取得の検討をしていきます。

### 3. 訪問介護事業・障害福祉サービス（ホームヘルプステーションわかば）

令和 3 年度 6 月より新たな管理者を位置づけ、各サービス提供責任者とのチーム



ワークづくりを中心に取り組んできました。令和 4 年度も人財育成を強化し、訪問（居宅）介護員の確保に努めていきます。また、利用者のモニタリングを徹底し適正な支援と法人内外の居宅介護支援事業所や相談部門（障がい者生活支援センターゆいゆい）と綿密に連携し、収支目標の達成に臨みます。

#### 4. 特定相談支援事業・障害児相談支援事業（障がい者生活支援センターゆいゆい）

令和 3 年度は相談支援専門員 5 名体制でしたが、相談支援専門員の退職があり令和 4 年度は新たな職員を迎え新体制となります。着実な引継ぎを行い、利用者様一人ひとりが安心して暮らせる支援を行います。また、本会のホームヘルプステーションわかばと連携し収益増を目指します。

#### 5. 移送サービス（リフト付きバス運行事業[市受託]・一般旅客運送事業）

リフト付きバス運行事業は、令和 4 年度で 32 年目を迎えます。新型コロナウイルス感染症の陽性者が増えると利用を控える傾向になる状況が続いています。既存の利用者の支援だけでなく、本会CSW（コミュニティソーシャルワーカー）と連携し、顕在化してない新たな支援ニーズへの対応を検討していきます。

一般旅客運送事業においては、ホームヘルプステーションわかばとの連携を具体的に把握し、現在使用している車種が適正なのかを協議し収益増を目指した支援を展開します。

#### 6. ファミリーサポートセンター事業

令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、基本事業の支援件数は、陽性者の増加により件数減となる状況でした。一方でコロナ禍において保育園の休園によって保育ニーズも出てきました。令和 4 年度も新型コロナウイルス感染症の影響は続くと思われるが、協力会員の感染対策を徹底しできるだけ保育ニーズに応えられる体制を目指します。そのためには担い手養成が重要になるため、養成研修はコロナ禍においてもオンライン講座開催を企画実施します。

#### 7. 育児支援家庭訪問事業

令和 3 年度は前年度に比較するとコロナ禍の影響を受けてか訪問件数が増加しています。令和 4 年度も家庭支援員の感染予防に配慮しながら利用者が安心して子育てできる環境づくりに努めます。

また利用者の抱える生活課題や背景、家庭環境は複雑多様なニーズが顕在化し、新規依頼も増えつつあります。昨今、ヤングケアラーなどの新たな子育て支援ニーズも表面化しており、育児支援家庭訪問事業の利用時からの、継続した寄り添い支援ができるような体制を局内全体で検討していきます。

## V 指定管理運営事業（5年契約4年目）

総合福祉センターをはじめ、各施設における指定管理の適切な運営と多世代交流の仕組みについてこれまで同様、関係団体と連携を密にしながら那覇市における地域福祉活動の拠点として、これまでの経験、実績を踏まえて拠点を活かした地域活動の推進に努めます。

また、次期指定管理受託に向けたプロポーザルの準備、福祉政策の視点でも、各老人福祉センター・児童館を社協の地域福祉活動の拠点として活用し、食糧支援や見守り活動、居場所づくりにつなげる相談機能の強化を図ります。

### 重点目標3 人と人を結ぶ支え合いの基盤づくり

#### 1. 拠点を活かした地域福祉活動の展開 再掲

##### 1. 那覇市総合福祉センター指定管理運営

各福祉団体の事務機能をもつ2階の社会福祉センター部分と1階と地下の児童館・老人憩の家・老人デイサービス・母子福祉センターといった利用施設部分を併せ持つ複合的な福祉機能を備えています。入居する各福祉団体が持つ福祉サービス機能の充実強化やボランティアの育成強化、併せて地域に根差した福祉施設として、子どもから高齢者まで（世代間・地域間・障がい者と健常者）交流を行う場として、地域福祉活動の拠点となる施設として市民福祉の増進を図ります。

##### 2. 老人福祉センター・憩の家（金城・識名・小禄）の指定管理運営

総合福祉センターと同様に地域福祉を推進していく拠点施設として担い、市民福祉の向上を図ります。また、相談員には積極的に高齢者福祉に関する研修の受講や知識等を習得し、各部署と連携を取りながら相談機能を強化します。

##### 3. 児童館（金城・識名・小禄）の指定管理運営

児童のための地域に根差した児童厚生施設として、健全な遊びを通して健康を推進し、多くの仲間とふれあう中で自己成長を促し、社会性を身につけ、情操を豊かに育むことに努めます。

##### 4. つどいの広場事業（市委託）

乳幼児とその親子が楽しく毎日が過ごせるための空間を提供し、親子同士で交流を深め、育児等の情報交換をしながら親子の居場所づくりに努めていきます。

【企画総務課 令和4年度の目標】

1 組織力の強化

	令和3年度目標	令和3年度見込	令和4年度目標	
(1) 会務の運営				
①理事会・評議員の開催				
理事会の開催	年4回	年4回	年4回	
評議員会の開催	年4回	年3回	年4回	
②各種部会委員会の開催				
評議員選任・解任委員会	年1回	年1回	年1回	
③局内会議等の開催				
三役会議等の開催	月2回	月2回(17回)	月2回	
事業企画検討会議の開催	週1回	週1回(49回)	週1回	
業務調整会議の開催	週1回	週1回(46回)	週1回	
全体職員会議の開催	年4回	1回	年4回	
(2) 会員加入の促進				
①正会員の加入拡大	10,000件	9,461件	10,000件	
②賛助会員の加入拡大				
(3) 福祉活動の財源確保				
①会費納入額	700万円	500万円	700万円	
②寄付金収入	950万円	840万円	1000万円	
③資金造成事業	チャリティゴルフ大会の開催	-	100万円	
	チャリティカラオケ大会の開催	-	-	
	芸能チャリティ公演の開催	-	-	
④広告収入(HPバナー広告、広報誌広告)	12万円	7万円	12万円	
⑤赤い羽根共同募金運動(配分金収入)	2000万円 (1000万円)	1500万円 (855万円)	2000万円 (1000万円)	
⑥歳末たすけあい募金運動	1000万円	898万円	1000万円	
(4) 事務局組織体制の基盤整備				
①組織体制の整備	随時	随時	随時	
②労務環境等の整備	随時	随時	随時	
	安全衛生委員会の開催	月1回	月1回(12回)	月1回
	職員健診・ストレスチェック調査の実施	年1回	年1回	年1回
	人材育成メンタルサポート面談	年12回	年8回	年12回
	人事考課システムの構築・評価	年2回	年2回	年2回
③IT環境等の整備事業の推進	随時	随時	随時	
(5) 研修の推進				
①役職員研修の開催	年3回	年1回	年3回	
②階層別研修会の開催	年3回	2回(新人)	年3回	
③各種研修への職員参加	随時	随時	随時	
④安全運転講習会の開催	年2回	-	年2回	
⑤社会福祉士等福祉関連資格取得の支援	適時	適時	適時	
⑥顧問弁護士学習会(法律相談含む)	年12回	9回	年12回	
(6) 福祉サービス苦情解決機能強化				
①第三者委員会	年1回	1回	年1回	
②研修会の参加	適時	2回	適時	
(7) 各種規程・規則等の整備	適時	実施あり	適時	
(8) 那覇市福祉活動計画の評価				
①第4次発展強化計画評価委員会の開催	年1回	-	年1回	

2 広報活動の推進		令和3年度目標	令和3年度見込	令和4年度目標
(1)	社協だより発行	年12回(1回7千部)	12回	年12回(1回7千部)
(2)	ホームページの運用	随時	随時	随時
(3)	第45回那覇市社会福祉大会の開催	年1回	1回(伝達表彰)	年1回

3 重度心身障害者医療費等貸付事業の推進		令和3年度目標	令和3年度見込	令和4年度目標
(1)	貸付回数	15回	14回	15回
(2)	貸付件数	59,000件	66,293件	60,000件
(3)	貸付金額	450,000,000円	419,999,931円	450,000,000円
(4)	医療機関件数	506ヶ所	475ヶ所	500ヶ所

4 那覇市共同募金委員会の運営		令和3年度目標	令和3年度見込	令和4年度目標
(1)	赤い羽根共同募金運動の推進			
	①一般募金(設定目標)	40,071千円	20,000千円	40,071千円
	②歳末たすけあい募金	10,130千円	898万円	13,776千円
	③各種委員会の開催			
	・運営委員会の開催	年2回	1回	年2回
	・助成審査委員会の開催	年1回	1回	年1回

【地域福祉課 令和4年度の目標】

1 地域福祉活動の推進

	令和3年度	令和3年度見込	令和4年度
(1)『第4次那覇市地域福祉計画・第2次那覇市地域福祉活動計画』の実施			
①行政区単位の四者会議の開催 ※令和元年度までは市単位で開催	5回	5回	5回
②政策課とCSWの情報共有会議	2回	1回	2回
③まちづくり協働推進課との意見交換会	1回	1回	1回
(2) 那覇市安心生活創造推進事業 (地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業)			
①地域の福祉ニーズを把握するために必要な事業			
緊急医療情報キット新規配付	200件	200件	200件
緊急医療情報キット拡充のための協議(医師会等)	継続	2回	継続
市の災害時要援護者名簿の適切な運営管理	随時	—	随時
見守り会議の実施強化(箇所数増)	30箇所	25箇所	30箇所
②地域の福祉ニーズを踏まえた地域サービスの創出・推進を図るために必要な事			
「地域見守り隊」の設置	新規5カ所	1箇所(全体52箇所)	新規5カ所
福祉協力員の再委嘱とボランティア保険の加入確認			
沖縄タイムス・琉球新報・丸徳ガス・見守り隊	3~4回	2回	3~4回
見守りネットワーク連絡会(交流会)	1回	アンケート実施	1回
地域福祉懇談会の開催	** 検討中 **		** 検討中 **
①単位民児協・まちづくり協議会等地域福祉懇談会	行政区2箇所ずつ選定	4地区(6回)	行政区2箇所ずつ選定
②単位民児協及び民児連との見守り等事業見直し会議	1回		1回
③単位民児協主催の懇談会開催支援	随時	—	随時
「なは見守りフォーラム」の開催 ※社会福祉大会との連動	1回	12月6日	1回
③地域におけるインフォーマル活動の活性化を図るための事業			
ふれあい・いきいきサロン事業の実施			
新規設置	5カ所	4カ所	5カ所
モニタリング	随時		随時
連絡会の開催	1回	アンケート実施	1回
ティッシュ配布による見守り訪問事業	随時追加	随時	随時追加
外部講師を招聘しての人材育成研修	年2回	年4回	年2回
(3) 住民組織活動の支援			
①校区まちづくり協議会への防災・福祉等部会の設置	3カ所	1カ所	2カ所
②地域福祉推進会活動の支援助成	3地区	3地区	3地区
(3) 民生委員・児童委員活動への支援			
①定例会参加(ニーズキャッチ)	基本毎月	—	基本毎月
②地域見守り・交流事業の推進	16地区	16地区	18地区
③欠員地区の人材掘り起こし等支援 ※新規	4地域		
(5) 地域ふれあいデイサービス事業の実施(市委託)			
①新規開所	2カ所	2箇所(R3年7月・R4.1月)	2カ所
②敬老の祝の開催	9月	各運営協議会	9月
③運営協議会交流会の開催	7回	7月	1回
④健康づくり支援員調整会議	月1回	月1回	月1回
⑤健康づくり支援員研修会	随時	随時	随時
⑥運営協議会へのモニタリング	随時	随時	随時
⑦利用者へのアンケート調査	1回	1回	1回
⑧運営協議会全体交流会	1月	中止	1月
(6) 那覇市生活支援・介護予防体制整備事業の実施			
①第1層協議体の運営	2回	2回開催	2回
②第2層協議体の運営支援	18包括	18包括実施	18包括
③第2層コーディネーターとの連絡会の開催	4回	4回	4回
④訪問Aの担い手養成講座の実施	1回	1回(11月)	2回

(7) 訪問B事業の実施	令和3年度	令和3年度見込	令和4年度
①生活支援サポーターの養成	4回	4回	4回
②活動回数	2,000回	400回	400回
③サポーター茶話会	1回		1回
<b>2 ボランティア活動の推進</b>	令和3年度	令和3年度見込	令和4年度
(1) ボランティア市民活動センターの運営			
①ボランティア市民活動センター運営委員会の開催	年2回	1回(6月)、2回(3月)	年2回
②活性化委員会の開催	年2～3回	3回	年3回
(2) 啓発広報活動			
①ボランティアBOX事業・収集ボランティアの推進	随時設置 延べ人数	87件 延べ人数	随時設置 延べ人数
(3) ボランティアコーディネートの推進			
①ボランティアバンクへの登録	個人登録 70人 団体登録 30団体	個人登録 220人 団体登録 55団体	個人登録 80人 団体登録 60団体
②ボランティア保険の加入促進	70件1,250人	186件 1,683人	90件 1,000人
③ボランティアの需給調整	100件/280人	225件/192人	100件/150人
④企画事業の実施			
・歳末おそうじ隊事業の実施	5件	2件	5件
・おむつプレゼント事業の実施	40件	32件	35件
・かりゆし長寿大学卒業生へのボランティア説明会の開催	1回	1回	1回
・ボランティア講座の実施	5回	5回	5回
(4) ボランティア団体活動の支援助成			
①ボランティア団体への助成事業の実施	600千円	425千円	400千円
・助成金審査会の開催	1回	1回	1回
・助成団体交付式の開催	1回	1回	1回
②活動拠点の提供			
・ボランティアサロンまわし管理運営	6000人	4981人	5000人
・総合福祉センター内ボランティア室の管理運営	100人	0人	1000人
(5) 福祉教育活動の推進			
①那覇市学校ボランティア福祉活動の推進	内部審査 1回 表彰の実施 1回	内部審査 1回 表彰の実施 1回	審査会 1回 表彰の実施 1回
②福祉講話及び福祉体験学習の実施	合計回数 小学校 15校 中学校 5校 その他 2件	合計回数 小学校 8校 中学校 2校 その他 5件	合計回数 小学校 10校 中学校 5校 その他 5件
③ボランティア体験・福祉教育プログラム助成事業の実施	100千円	100千円	100千円
・助成金審査会の開催	1回	1回	1回
(6) 災害ボランティア活動の推進			
災害ボランティアセンター運営参集訓練	1回	未実施	1回
(7) 企業の社会貢献活動・SDGsの推進(養成講座)	随時	4回	随時
(8) 第10回童まつり(70周年記念事業)	未定	中止	実施
<b>3 福祉関係団体への支援助成</b>	令和3年度	令和3年度見込	令和4年度
(1) 赤い羽根共同募金による助成支援	助成額	助成額	助成額
団体助成	5,905,000円 (50団体)	4,384,000円 (33団体)	5,500,000円 (50団体)
(2) 歳末助け合い募金による助成支援			
単位自治会	40件	20件	45件
サロン等	10件	5件	30件
地域団体・NPO等団体	20件	11件	20件
(3) 福祉関係団体連絡会の開催			
①共同募金団体連絡会	1回	未実施	1回
②社会福祉法人の公益的活動に関する連絡会	8回	8回	8回

4 ふれあいのまちづくり事業

	令和3年度		令和3年度見込		令和4年度	
(1)専任相談員の配置						
総合相談の実施	相談件数	700件	相談件数	500件	相談件数	700件
専門相談の実施						
司法書士相談		月1回		実施		月1回
弁護士相談		2か月に1回		実施		2か月に1回
相談員連絡会の開催		6回		4回		6回
(2)事例検討会の実施		6回		1回		6回
(3)生活福祉資金貸付事業						
償還に関する単位民児協への周知活動		4回		2回		4回
(4)法外援活動の推進						
①フードドライブの実施		通年		通年		通年
②歳末見舞い激励金支給事業		250万《200件》		2,005,000円(159件/171件)		250万《200件》
<b>5 権利擁護の推進</b>		令和3年度		令和3年度見込		令和4年度
(1)日常生活自立支援事業の実施(県社協受託)						
①契約件数		95件		85件		100件
(2)那覇市生活保護世帯金銭管理支援事業(市受託)						
契約件数		120件		93件		120件
(3)法人後見推進事業の実施						
①受任件数		15件		12件		15件
②法人後見運営委員会の実施		1回		未実施		1回
(4)生活支援員研修会の企画・実施		1回		1回		1回
(5)各事業所へ権利擁護支援と法人後見に関するアンケートの実施(案)		1回		1回		

6 子育て支援活動の推進

昨年度からスタートした子ども食堂等の運基盤づくりを継続する。

	令和3年度	令和3年度見込	令和4年度
(1)子どもの支援団体へのサポート事業の実施(市受託)			
①居場所づくり団体の実態把握			
・居場所件数	50か所(補助なし団体含)	48か所	55か所(補助なし団体含)
・アンケートやヒアリング実施	1回	20回	随時
②支援団体と関係団体とのネットワークづくり			
・代表者連絡会・研修会の実施	2回	5回	随時
・地域連携運営会議等の開催	6回	10回	6回
・新規立ち上げ支援	随時	30回	随時
③広報活動			
・広報物作成(パンフ・のぼり等)	1回	3回	3回
・機関紙・SNS・その他での発信	随時	150回	200回
④必要な支援のコーディネート			
・ボランティアのマッチング	随時	100件	随時
・企業・団体・個人からの寄付寄贈受付と配分	随時	200件	随時
・企業・団体との連携	随時	50件	随時
・個別支援への連携	随時	50回	随時
⑤保護課との会議及び報告会	4回	5回	4回
(3)子ども食堂等支援事業の実施(新規)			
①居場所向け中間支援のネットワークづくり(立ち上げ・調整)	随時	80回	随時
②企業・団体・個人からの寄贈(糸やフードドライブ実績含む)	随時	200件	随時
③企業団体からの定期的or大量寄贈の連携・コーディネート	随時	12企業団体	随時
④啓発イベントの開催・参加	2回	1回	2回

【在宅福祉課 令和4年度の目標】

1 介護保険・障害福祉サービス事業の推進	令和3年度目標	令和3年度見込	令和4年度目標
(1) 介護保険居宅介護支援事業の経営			
・介護給付費ケアプラン件数(月平均)	140件/月	110件/月	116件/月
・予防給付費ケアプラン件数(月平均)	8件/月	10件/月	8件/月
・収入額合計	27,048千円	21,885千円	24,788千円
(2) 介護保険通所介護事業の経営(デイサービスあしびなー)			
・稼働率	79%	80%	80%
・利用回数(月平均)	616回/月	617回/月	657回/月
・収入額合計	68,553千円	63,173千円	75,326千円
(3) 介護保険訪問介護事業の経営(ホームヘルプステーションわかば)			
・利用者数(月平均)	77名	79名	81名
・利用回数(月平均)	788回	828回	892回
・収入額合計	40,997千円	36,800千円	42,176千円
(4) 特定相談支援事業(障がい者生活支援センターゆいゆい)			
・継続支援(モニタリング) 利用支援(新規・更新)件数	888件/年	841件/年	864件/年
・収入額合計	14,711千円	15,427千円	15,142千円
(5) 障がい児相談支援事業(障がい者生活支援センターゆいゆい)			
・継続支援(モニタリング) 利用支援(新規・更新)件数	360件/年	368件/年	372件/年
・収入額合計	7,086千円	7,149千円	7,104千円
(6) 障がい福祉サービス事業所の経営(ホームヘルプステーションわかば)			
・利用者数(月平均)	117名	113名	120名
・利用回数(月平均)	2,262回	2,099回	2,478回
・収入額合計	105,744千円	101,336千円	117,547千円
(7) 移動支援事業(ホームヘルプステーションわかば)			
・利用者数(月平均)	26名/月	29名/月	30名/月
・目標回数(月平均)	112回/月	130回/月	135回/月
・介護報酬額(年間合計)	6,640千円	7,747千円	7,956千円
(8) 那覇市リフト付バス運行事業の実施(市受託)			
・利用件数(年間)	2,000件	1,275件	1,440件
(9) 一般旅客運送事業の実施(福祉有償移送事業 ふれ愛号)			
・利用件数(年間)	650件	515件	650件
(10) 介護保険・障がい福祉サービス制度外サービスの実施			
・介護保険・障害福祉サービス	5名	3名	5名
(11) 介護保険・障がい福祉サービス事業等経営検討会議の開催			
・介護保険・障がい福祉サービス事業等経営検討会議の実施	月1回年間12回	月1回年間12回	月1回年間12回
(12) 介護保険事業関係事業所連絡会への参画			
①訪問介護ネットワークなは			
・幹事会	2カ月に1回	9回	2カ月に1回
・研修会	年2回	年1回	年2回
②通所介護ネットワークなは			
・幹事会	2カ月に1回	8回	2カ月に1回
・研修会	年2回	年1回	年2回



2 子育て支援事業

	令和3年度目標	令和3年度見込	令和4年度目標
(1) 那覇市ファミリーサポートセンター事業の実施(基本事業)(市受託)			
①基本事業件数(年間)	6,000件	4,200件	5,000件
②定例会の開催(年間)	10回	3回	6回
②保育サポート講習会の開催数と受講者数	年2回・40名	年1回・10名	年2回・40名
③ファミリーサポートセンター関係者連絡会議	年1回	年1回	年1回
(2) 病児・緊急預り事業の実施(市受託)			
①病児・緊急対応強化事業件数(年間)	200件	64件	100件
②ひとり親家庭等子育てサポート券			
・申請数	100件	66件	100
・利用枚数	500枚/1,500発行	308枚/発行	500枚/1,500発行
(3) 育児支援家庭訪問事業の実施			
利用者数(月平均)	25名	24名	25名
訪問回数(年間)	2,200回	1,300回	1,800回
支援員数(月平均)	15名	10名	15名
家庭支援員養成講座(地域福祉基金助成事業)	1回	開催なし	1回(10名)

【福祉施設課 令和4年度の目標】

那覇市総合福祉センターの指定管理運営	令和3年度目標	令和3年度見込	令和4年度目標
(1) 総合福祉センターの管理運営			
社会福祉センターの管理運営 団体事務所、会議室、ボランティア室、各種相談業務			
利用者人数 年間目標額	65,000人	54,000人	65,000人
(2) 那覇市金城老人憩いの家の指定管理			
①講座の開催と同好会活動の支援	随時	随時	随時
②地域見守り活動	週1回	週1回	週1回
③実習生受入(看護実習)	3校	0校	3校
④かなぐすく地域福祉まつり開催	年1回	年0回	年1回
利用者人数 年間目標値	16,000人	11,000人	16,000人
(3) 那覇市金城児童館の指定管理			
①児童館クラブ活動の運営	各クラブ週1回	各クラブ週1回	各クラブ週1回
②季節の行事及び3世代交流事業	随時	随時	随時
③かなぐすく地域福祉まつり開催	年1回	年1回	年1回
④児童館だよりの発行(1回2,000部)	毎月1回	毎月1回	毎月1回
利用者人数 年間目標値	29,000人	25,000人	29,000人

那覇市小禄老人福祉センター・小禄児童館の指定管理運営	令和3年度目標	令和3年度見込	令和4年度目標
(1)小禄老人福祉センター運営事業			
①講座の開催と同好会活動の支援	随時	随時	随時
②地域見守り活動	週1回	週1回	週1回
③実習生受入(看護実習)	年3回	年0回	年3回
④うるく地域ふれあいまつり開催	年1回	年0回	年1回
利用者人数 年間目標値	15,000人	6,000人	15,000人
(2) 那覇市小禄児童館の指定管理			
①児童館クラブ活動の運営	各クラブ週1回	各クラブ週1回	各クラブ週1回
②季節の行事及び3世代交流事業	随時	随時	随時
③うるく地域ふれあいまつり開催	年1回	年0回	年1回
④児童館だよりの発行(1回1,000部)	毎月1回	毎月1回	毎月1回
利用者人数 年間目標値	17,000人	13,000人	17,000人

那覇市識名老人福祉センター・小禄児童館の指定管理運営	令和3年度目標	令和3年度見込	令和4年度目標
(1)識名老人福祉センター運営事業			
①講座の開催と同好会活動の支援	随時	随時	随時
②地域見守り活動	週1回	週1回	週1回
③実習生受入(看護実習)	年3回	年0回	年3回
④識名地域福祉まつり開催	年1回	年0回	年1回
利用者人数 年間目標値	11,000人	4,000人	11,000人
(2)識名児童館運営事業			
①児童館クラブ活動の運営(3クラブ)	各クラブ週1回	各クラブ週1回	各クラブ週1回
②季節の行事及び3世代交流事業	随時	随時	随時
③識名地域福祉まつり開催	年1回	年0回	年1回
④児童館だよりの発行(1回2,200部)	毎月1回	毎月1回	毎月1回
利用者人数 年間目標値	18,000人	9,000人	18,000人

NO	月	日	行 事 名	備考
1	4	1	社協だより発行	
2		1	辞令交付式	
3		上旬	新任職員研修	
4		未定	職務会	
5		第1水	顧問弁護士学習会(毎月1回開催)	
6		第1木	安全衛生委員会 毎月第1木曜日	
7		未定	安全運転講習会	
8		未定	南部地区社連定期総会	
9		未定	チャリティゴルフ大会実行委員会	
10		第3金	社協だより 編集会議	
11	5	1	社協だより発行	
12		上旬	監査	
13		第1水	顧問弁護士学習会(毎月1回開催)	
14		第1木	安全衛生委員会 毎月第1木曜日	
15		第3金	社協だより 編集会議	
16	6	1	社協だより発行	6/1~28 6月議会
17		随時	那覇市協会費月間	
18		未定	職務会	
19		上旬	第1回理事会	
20		未定	評議員選任解任委員会 ※退任がいれば開催	
21		中旬	第1回評議員会(定時評議員会)	
22		第1水	顧問弁護士学習会(毎月1回開催)	
23		第1木	安全衛生委員会 毎月第1木曜日	
24		未定	那覇市社会福祉大会 役員会	
25		第3金	社協だより 編集会議	
26	7	1	社協だより発行	
27		未定	第32回チャリティゴルフ大会(沖縄カントリークラブ・喜瀬カントリークラブ) 案①	
28		第1水	顧問弁護士学習会(毎月1回開催)	
29		第1木	安全衛生委員会 毎月第1木曜日	
30		未定	赤い羽根共同募金 感謝の集い	
31		未定	役員研修(理事・評議員) ※未定	
32		未定	赤い羽根共同募金運営委員会	
33		第3金	社協だより編集会議	
34	8	1	社協だより発行	
35		未定	職務会	
36		未定	第46回那覇市社会福祉大会 表彰委員会	
37		未定	第32回チャリティゴルフ大会報告会及び表彰式 案①	
38		第1水	顧問弁護士学習会(毎月1回開催)	
39		第1木	安全衛生委員会 毎月第1木曜日	
40		第3金	社協だより編集会議	
41	9	1	社協だより発行	9/1~10/8 9月議会
42		第1水	顧問弁護士学習会(毎月1回開催)	
43		第1木	安全衛生委員会 毎月第1木曜日	
44		未定	健康診断(社協内)	
45		第3金	社協だより編集会議	

46	10	1	社協だより発行	
47		未定	職務会	
48		1	赤い羽根共同募金運動 スタート 伝達式 10月～3月	
49		随時	赤い羽根共同募金運動街頭募金(～31日)	
50		13・14	第46回那覇市社会福祉大会	2週目頃
51		第1水	顧問弁護士学習会(毎月1回開催)	
52		第1木	安全衛生委員会 毎月第1木曜日	
53		26	沖縄県社会福祉大会	
54		未定	第2回理事会	
55		第3金	社協だより編集会議	
56	11	1	社協だより発行	11/15市長選挙
57		未定	第2回評議員会	11/26～12/22 11月議会
58		第1水	顧問弁護士学習会(毎月1回開催)	
59		第1木	安全衛生委員会 毎月第1木曜日	
60		第3金	社協だより編集会議	
61	12	1	社協だより発行	
62		未定	職務会	
63		1	歳末たすけあい運動スタート 12月～3月	
64		随時	歳末たすけあい運動街頭募金(～25日)	
65		未定	歳末助成審査会 ※地域課共同	
66		第1水	顧問弁護士学習会(毎月1回開催)	
67		第1木	安全衛生委員会 毎月第1木曜日	
68		未定	那覇市社協 望年会 未定	
69	第3金	社協だより編集会議		
70	1	1	社協だより発行	
71		4	新年の集い 未定	
72		第1水	顧問弁護士学習会(毎月1回開催)	
73		第1木	安全衛生委員会 毎月第1木曜日	
74		未定	うるく童まつり 未定	
75		第3金	社協だより編集会議	
76	2	1	社協だより発行	2/9～3/22 2月議会
77		未定	職務会	
78		未定	第32回チャリティーゴルフ大会 案②	
79		未定	第36回芸能チャリティ公演 ※未定	
80		未定	第32回チャリティーゴルフ大会報告会及び表彰式 案②	
81		第1水	顧問弁護士学習会(毎月1回開催)	
82		第1木	安全衛生委員会 毎月第1木曜日	
83		中旬	事業計画案・予算書案 最終提出	
84		中旬	三役会議(事業計画案・予算案)	
85		第3金	社協だより編集会議	
86	3	1	社協だより発行	
87		第1水	顧問弁護士学習会(毎月1回開催)	
88		第1木	安全衛生委員会 毎月第1木曜日	
89		中旬	第三者委員会	
90		上旬	第3回理事会	
91		中旬	第3回評議員会	
92		第3金	社協だより編集会議	

月	日	行 事 名	備考
4		第1回法人後見運営委員会	
		共同募金助成審査委員会	
5		CSW研修会プログラム準備会	
		第1回相談連絡会	
		子ども居場所ネットワーク研修会(1回目)	
		第1回那覇市社会福祉法人等施設連絡会 検討部会	
6	11	社協創立70周年記念日	
		第1回CSW研修会	
		福祉政策課との情報交換会(1回目)	
		第1回ボランティア市民活動センター運営委員会	
		地域福祉懇談会(地区1回目)	
		那覇市生活支援・介護予防体制整備事業第1層協議体(1回目)	
		子ども居場所ネットワーク代表者連絡会(1回目)	
		第1回・2回那覇市社会福祉法人等施設連絡会	
7		第2回相談連絡会	
		地域福祉懇談会(地区1回目)	
		いきいきふれあいサロン交流会	
		那覇市生活支援・介護予防体制整備事業生活支援サポーター養成講座(1・2回)	
		ふれあいデイサービス地区交流会	
	22	社協法人化55周年記念日	
		保護課との調整会議	
		第2回那覇市社会福祉法人等施設連絡会 検討部会	
8		第2回CSW研修会	
		かりゆし長寿大学校卒業生へのボランティア説明会の開催	
		地域福祉懇談会(地区1回目)	
		赤い羽根共同募金運営委員会	
		那覇市生活支援・介護予防体制整備事業第2層協議体とCSWとの連絡会	
9		第3回相談連絡会	
		那覇市生活支援・介護予防体制整備事業訪問型サービスA従事者養成研修	
		地域ふれあいデイサービス事業敬老の祝い	
		子ども居場所ネットワーク研修会(2回目)	
		第3回・4回那覇市社会福祉法人等施設連絡会	
10	1	赤い羽根共同募金運動空の便伝達式セレモニー	
		見守り隊交流会	
		地域福祉懇談会(地区2回目)	
		四者意見交換会(行政区単位1回目)	
		那覇市生活支援・介護予防体制整備事業生活支援サポーター養成講座(3回目)	
		福祉政策課との情報交換会(2回目)	
		保護課との調整会議(2回目)	
		第3回那覇市社会福祉法人等施設連絡会 検討部会	

11	学校ボランティア学習推進協議会実践者表彰式	
	那覇市生活支援・介護予防体制整備事業第1層協議体連絡会(2回目)	
	第3回CSW研修会	
	地域福祉懇談会(地区2回目)	
	四者意見交換会(行政区単位1回目)	
	70周年記念みまもりフォーラム	
	第4回相談連絡会	
	子ども居場所ネットワーク代表者連絡会(2回目)	
12	災害ボランティアセンター運営参集訓練	
	歳末お掃除隊事業の実施	
	紙オムツプレゼント事業の実施	
	地域福祉懇談会(地区2回目)	
	歳末見舞激励金支給事業	
	クリスマスケーキプレゼント事業	
	第5回・6回那覇市社会福祉法人等施設連絡会	
1	第5回相談連絡会	
	地域福祉懇談会(地区2回目)	
	四者意見交換会(行政区単位1回目)	
	地域ふれあいデイサービス運営協議会全体会	
	保護課との調整会議(3回目)	
	第4回那覇市社会福祉法人等施設連絡会 検討部会	
2	那覇市生活支援・介護予防体制整備事業生活支援サポーター養成講座(4回目)	
	第4回CSW研究会	
	子ども居場所ネットワーク代表者連絡会(3回目)	
	第7回・8回那覇市社会福祉法人等施設連絡会	
3	第6回相談連絡会	
	四者意見交換会(全体会)	
	第2回ボランティア市民活動センター運営委員会	
	那覇市安心生活創造推進事業報告会	
	那覇市生活支援・介護予防体制整備事業報告会	
	第5回那覇市社会福祉法人等施設連絡会 検討部会	

NO	月	日	行 事 名	備考
1	4	第3・水	訪問介護ネットワークなは幹事会	
2		第3・木	ヘルパー定例学習会	
3		第3・金	通所介護ネットワークなは幹事会	
4		第4・月	事業進捗会議	
5	5	第3・水	訪問介護ネットワークなは幹事会	
6		第3・木	ヘルパー定例学習会	
7		第3・金	通所介護ネットワークなは幹事会	
8		未定	通所介護ネットワークなは総会	
9		未定	訪問介護ネットワークなは総会	
10	6	第3・水	訪問介護ネットワークなは幹事会	
11		第3・木	ヘルパー定例学習会	
12		第3・金	通所介護ネットワークなは幹事会	
13		第4・月	事業進捗会議	
14		随時	県立真和志高等学校実習生受入(6月・8月・11月迄随時)	
15	7	第3・水	訪問介護ネットワークなは幹事会	
16		第3・木	ヘルパー定例学習会	
17		第3・金	通所介護ネットワークなは幹事会	
18		第4・月	事業進捗会議	
19		未定	訪問A養成講座	
20	8	第3・水	訪問介護ネットワークなは幹事会	
21		第3・木	ヘルパー定例学習会	
22		第3・金	通所介護ネットワークなは幹事会	
23		第4・月	事業進捗会議	
24		随時	県立真和志高等学校実習生受入(6月・8月・11月迄随時)	
25	9	第3・水	訪問介護ネットワークなは幹事会	
26		第3・木	ヘルパー定例学習会	
27		第3・金	通所介護ネットワークなは幹事会	
28		第3・土	デイサービスあしびなー敬老会	
29		第4・月	事業進捗会議	
30	10	第3・水	訪問介護ネットワークなは幹事会	
31		第3・木	ヘルパー定例学習会	
32		第3・金	通所介護ネットワークなは幹事会	
33		第3・日	介護保険利用者の集い	
34		第4・月	事業進捗会議	
35	11	第3・水	訪問介護ネットワークなは幹事会	
36		第3・木	ヘルパー定例学習会	
37		第3・金	通所介護ネットワークなは幹事会	
38		第4・月	事業進捗会議	
39		未定	訪問A養成講座	
40		随時	県立真和志高等学校実習生受入(6月・8月・11月迄随時)	
41	12	第3・水	訪問介護ネットワークなは幹事会	
42		第3・木	ヘルパー定例学習会	
43		第3・金	通所介護ネットワークなは幹事会	
44		第3・日	障がい福祉利用者の集い	
45		第4・月	事業進捗会議	
46	1	第3・水	訪問介護ネットワークなは幹事会	
47		第3・木	ヘルパー定例学習会	
48		第3・金	通所介護ネットワークなは幹事会	
49		第4・月	事業進捗会議	
50	2	第3・水	訪問介護ネットワークなは幹事会	
51		第3・木	ヘルパー定例学習会	
52		第3・金	通所介護ネットワークなは幹事会	
53		第4・月	事業進捗会議	
54	3	第3・水	訪問介護ネットワークなは幹事会	
55		第3・木	ヘルパー定例学習会	
56		第3・金	通所介護ネットワークなは幹事会	
57		第4・月	事業進捗会議	

月	日	行 事 名	備 考
4	中旬	沖縄県立看護大学実習生受入	小祿・識名老人センター 金城憩の家
	中旬	こいのぼり掲揚式	識名・小祿・金城児童館
	下旬	運営委員会	識名老人センター 金城憩の家
5	1	老人センター・憩の家講座開講	小祿・識名老人センター 金城憩の家
	1	小祿・識名・金城児童館 クラブ開講	小祿・識名・金城児童館
	5	小祿・識名・金城児童館 こどもの日スペシャル	小祿・識名・金城児童館
	中旬	母の日「お楽しみ会」	識名老人センター
	中旬	第1回利用者連絡会	識名老人センター
	下旬	地域関係者懇談会(金城・さつき・高良・垣花)	金城児童館
	下旬	第1回利用者連絡会	小祿老人センター
6	上旬	定期清掃(1回目)	小祿・識名老人センター
	上旬	AED講習会	小祿老人センター
	中旬	とびだせ児童館	小祿・識名・金城児童館
	中旬	小祿関係者会議	小祿児童館
	中旬	応急手当講習会	識名老人センター
	下旬	第1回利用者連絡会	金城憩の家
	下旬	那覇市総合福祉センター入居団体運営協議会	福祉センター
7	上旬	三世代交流 たなばた会	識名老人センター・識名児童館
	上旬	避難訓練	小祿老人センター・小祿児童館
	上旬	なはの日 総合福祉センター周辺美化活動	福祉センター
8	下旬	避難訓練	識名老人センター・識名児童館
	下旬	第2回利用者連絡会	小祿・識名老人センター 金城憩の家
9	中旬	とびだせ児童館	小祿・識名・金城児童館
	中旬	金城老人憩の家敬老会 ・小祿老人センター18番大会 ・識名老人センターお楽しみ会	小祿・識名老人センター 金城憩の家
	下旬	交流ボウリング大会	金城憩の家
	下旬	総合防災訓練(火災避難訓練)	福祉センター・金城憩の家・金城児童館
	下旬	金城・小祿合同利用者作品展「ちゃーがんじゅう展」 イオン琉球那覇店	小祿老人センター・金城憩の家
10	中旬	赤い羽根街頭募金活動	小祿・識名・金城児童館
	上旬~	赤ちゃんが先生(那覇西高校2年生交流学习)	金城児童館
	中旬	防災訓練(地震・火災・津波)	小祿老人センター・児童館
	中旬	三世代交流 ~秋の大運動会~	金城憩の家・金城児童館
	下旬	かなぐすく地域福祉まつり第3回実行委員会	金城老人憩の家
	下旬	老人センター・児童館交流グラウンドゴルフ大会	識名老人センター・識名児童館
11	上旬~	赤ちゃんが先生(那覇西高校2年生交流学习)	金城児童館
	上旬	かなぐすく地域福祉まつり前 美化活動	福祉センター・金城憩の家・金城児童館
	中旬	総合防災訓練(地震避難訓練)	福祉センター・金城憩の家・金城児童館
	中旬	第13回かなぐすく地域福祉まつり	福祉センター・金城憩の家・金城児童館
	中旬	利用者連絡会リーダー研修	識名老人センター
	中旬	那覇市児童館交流事業	
12	上旬	うるく地域ふれあい祭り「ボウリング大会」	小祿老人センター
	上旬	識名地域福祉まつり競技大会	識名老人センター
	中旬	クリスマス忘年会	小祿老人センター
	中旬	つどいの広場クリスマス会	小祿・識名・金城児童館
	下旬	年末大掃除	各老人センター・憩の家・児童館
1	上旬	三世代交流事業~新春ふれあい会~	各センター及び憩の家・各児童館
	中旬	浦添看護学校実習生受入	小祿・識名老人センター 金城憩の家
	下旬	ひやみかちカラオケ大会	小祿・識名老人センター 金城憩の家
	下旬	うるく童まつり ※とびだせ児童館	小祿・識名・金城児童館
2	上旬	第14回識名地域福祉まつり	識名老人センター・識名児童館
	上旬	那覇看護専門学校実習生受入	小祿・識名老人センター 金城憩の家
3	上旬	ひな壇展示	小祿・識名・金城児童館